

委員の皆様から提出のあった意見一覧
(ページは前回(第6回)審議会配布時の【資料1】におけるページ番号としています。)

No	ページ (審議会配布)	委員の皆様からのご意見	ご意見に対する素案への反映内容等
1	1	「柔軟に対応」というやさしい表現ではなく「危機感を持って対応」という表現のほうが新たな脅威に対して適している。(11ページも同様)	ご指摘の内容で修正しました。
2	2	総合計画の進捗評価サイクル 基本計画の中間評価を前期・後期それぞれ1回としているが、従来以上に先行きが不透明かつ変化のスピードが激しくなっている現代においては評価間隔を短縮し(年1回)、都度の見直しを図っていく必要があるのではないか。	ご指摘の中間評価(前期・後期各1回)は外部評価であり、内部での行政評価は毎年実施をし、PDCAサイクルを意識し施策・事業を進めていく予定です。費用面等もあり、市民意識調査による外部評価は前期・後期各1回とします。評価サイクルの表について、内容を修正し、内部及び外部の評価サイクルが明確となるよう修正しました。
3	3	須坂市を知らない方に市の沿革を端的に伝える内容としてしっかりと表現されている。	-
4	4	人口減少・少子化はやむを得ない現状なので、それを踏まえた市政運営が必要。	まち・ひと・しごと創生総合戦略を次期計画と一体的に策定し、人口減少・少子化の課題克服に取り組んでいきます。
5	5	子育てしやすい環境を更に整えていく努力を。例えば、親水公園で遊べる楽しい場所作り(温暖化で暑い夏に親子・祖父母で憩える場所など)	子育て施策やまちづくり施策の中の事務事業で検討していく内容となります。
6	6	「進取の気性」について分かり易い表現を。	「新しいことに果敢にチャレンジする」と言い換え、修正しました。
7	6	産直は非常に魅力的。駐車場を備え、品物が豊富で規格外もそろつた販売所。現在の状況を維持しつつ更に充実した推進の環境作りを。	農業関連施策の中における事務事業等で検討していく内容となります。
8	7	コロナ禍を踏まえた活動が地域の中で根付いていくとよい。勇気を出して「助けて！」と言える地域のつながりが更に必要。	施策6「地域福祉の推進」で具体化しています。
9	8	それぞれの共創での楽しいイベント作りがあると各世代を通じて楽しめると思うが、今後何年続くかわからない新コロナ禍の中で「密」を避けなければならない現実の課題がある。	ご指摘のとおりです。各施策を進める上で新しい生活様式や生活のあり方を念頭におく必要があります。このことは3つのチャレンジ指針の「進化」にも含め、基本構想内や各施策の方針で示しています。
10	9	「第5次」→「第五次」	ご指摘のとおり修正しました。
11	9	重要度「低」の中に区分される部分の努力が必要。時間の余裕のない(とれない)世代の息抜きをどうするかで満足度アップにつながる。	重要度「低」部分は優先的に取組む分野ではないのですが、なぜその重要度が低いという認識になっているのかは、行政情報の伝達不足の可能性もありますので検証をしたいと思います。

No	ページ (審議会配布)	委員の皆様からのご意見	ご意見に対する素案への反映内容等
12	10	<p>①高齢化世代にとっては交通手段が大きな課題。もちろん健康寿命維持も大切なフォローだと思う。</p> <p>②インター周辺開発も待ち望むところだが、高齢者や障がい者に寄り添った計画を。</p> <p>③市民の取組み状況が低い部分を向上させていく努力をどうするかを考えていく共創のまちづくりが必要。</p> <p>④「災害に対する備え」が図式で終わらないよう日頃の訓練が大切。10年間で69町とすれば毎年平均7町、それぞれ重点をおいて防災への取組み強化をしたらどうか。</p>	<p>①、②、④は各施策における事務事業の中で検討をしてまいります。</p> <p>③各施策に「共創のまちづくりに向けた主体の役割」を明示しています。各主体がこれらを十分意識して取組むことが大切だと考えています。</p>
13	11	「社会・人口の変化」で本市の目指す姿（シナリオ）の6項目目について、「次代を担う…須坂独自の教育モデルとして近隣から注目されている」と大変素晴らしいと思いますが、須坂市は逆に家庭内の児童虐待においてはどこよりも多いという現実。家庭の中が安定していない状況をいつも危惧しています。市では何か取組みをしているのでしょうか。とても心配しています。	基本計画における施策9「切れ目のない子育て支援の充実」を主に関係する施策担当課で連携して対応を進めていきます。
14	11	育児世代の子育てについて、楽しみながら食育の強化（須坂の味）の環境を整えられるとよい。	各施策における事務事業の中で検討をしてまいります。
15	12	「この地を愛する人や…」とありますが、何かのアンケートの時、「あなたはどんな所、場所を愛していますか」等の形式で設問を設け、記述していただくと具体的にどんな場面か分かると思います。	背景データとしては市民総合意識調査により把握しています。ページ分量の関係から総合計画基本構想の中に詳細を記載していません。
16	12	シンプルでわかりやすいスローガンで良い。	-
17	13	「ほんものの誇り」の中に「美しい自然や…」とありますが、12ページと同様、どの場面の景色が好きなのか聞くことが大切だと思います。	背景データとしては市民総合意識調査により把握しています。ページ分量の関係から総合計画基本構想の中に詳細を記載していません。
18	13	「民間企業」→「企業」でよいのではないか。	ご指摘のとおり修正しました。
19	14	高齢者にはついていけないチャレンジ部門だと思うが、時代の変化に対応していく必要があり、そういう世の中になっているので、今の子供達を育てていかないと。人口減少に伴い、介護関係ではロボット活用が当たり前になっているかもしれない。	年代や生活状況等も異なるそれぞれの方なりの「チャレンジ」で良いと考えます。チャレンジは今よりも少し高度な取組みを行うことでもよく、「進化」の視点で言えば、高齢の方がスマートフォンなどICT機器を使い、情報収集（防災情報や市政情報等）しようとする心掛けなども十分これにあたると思います。
20	15	4者がそれぞれに役割と責任を持って共創していく方向は素晴らしいこと。施策を進める過程では、行政は行政にしかできないことに特化し、その他の分野は極力その他3者（民間等）が主体的に動けるような仕組みづくりが必要と考える。	ご指摘の点について、今回の総合計画では各主体の役割を施策ごと明示しています。施策担当課と施策に関連する各主体が認識共有して事業を進めていくことに重点を置いた計画とします。
21	15	「市民・企業・活動団体・行政」の4者共創について、表紙裏や目次、13ページには「行政」が抜けている。	追記しました。

No	ページ (審議会配布)	委員の皆様からのご意見	ご意見に対する素案への反映内容等
22	15	今まで過ごしてきた10年の時代背景とこれから先の10年間の時代背景では既にスタート時点から状況が異なる。少子高齢化社会に加え、温暖化や新コロナ禍の問題を抱えての10年計画となり、非常に厳しい現実が待っているが、須坂市のよさを最大限に伸ばせるよう市民の力で「しあわせ」を感じることができる10年後になってほしいと願っている。	将来像と背景にあたる部分になるかと思います。本計画がそのような計画の羅針盤となるよう策定を進めていきます。
23	16	ESG同様、SDGsについても英語表記を行うことが必要ではないか。	追記しました。
24	17	基本目標3の中で示されている「ワンストップの子育て支援」とは具体的にどのようなものか。	基本計画における施策9「切れ目のない子育て支援の充実」で示している取組内容がこれにあたります。
25	17	第六次総合計画はコロナウィルスの影響が大きなポイントになる。もしコロナに罹ってしまったら秘密にしたい子供が多いとの報道もあるが、心の教育に入れることは大切。コロナ関連だけではなく、SNSでの避難・中小に対しても子供だけでなく私達大人も人権に対しての教育が大事だと思う。こうした取組みが人に対して思いやりのあるまちづくりにつながるのではないか。	ご指摘の点について、重要な内容だと思います。具体的には施策1「人権尊重・共生社会の実現」で示しています。
26	17	子育て世代に選んでもらえるまちとなるために、夢のある教育を。例えば、健康スマージーの取組みを活用し、学校教育の中で野菜を育て、その野菜でスマージーを作つてみるとかコンテストをやって全国へ優良レシピを発信するなど…子供達が自ら住んでいる須坂の良さを勉強し、大人になってもずっと住み続けてもらえるようになればいいなと思っている。	各施策における事務事業の中で検討をしてまいります。
27	19	「水源のかん養当」→「水源のかん養等」	修正しました。
28	19	「低・未利用地」→「低未利用地」	修正しました。
29	21	「耕作放棄地の発生防止と再利用による農用地の確保」とあるが、耕作放棄地は馬入れのない農用地が多い。したがって、再利用は馬入れの整備をしない限り難しいので、馬入れのない耕作放棄地はまず馬入れの整備をおこなってから再利用できるようにすることが必要である。	記載内容のレベル感を統一するため、土地利用に関する基本構想の中で具体的な記述は難しいところですが、施策28「農業の活性化」の中でご指摘いただいた部分の取組みについても含んでいると解しています。（農地の集積等）
30	22	「高甫地区」や「東地区」に耕作放棄地が多く存在している。このため、この農用地の有効活用を考えなければ暮らしやすいまちを目指すための土地利用は望めない。	記載内容のレベル感を統一するため、土地利用に関する基本構想の中で具体的な記述は難しいところですが、施策28「農業の活性化」の中でご指摘いただいた部分の取組みについても含んでいると解しています。（農地の集積等）
31	26	「市民の皆様や…」→「市民のみなさんや…」	単に「市民」とし、修正しました。

No	ページ (審議会配布)	委員の皆様からのご意見	ご意見に対する素案への反映内容等
32	26	健康長寿発信都市「須坂JAPAN」の部分にホームページ掲載の動画リンクに関するQRコードをつけてはどうか。	健康長寿発信都市「須坂JAPAN」の認知度については市民総合意識調査でも低率となっています。理解促進や認知度向上の点からも一つのアイディアとして検討させていただきます。
33	35	成果指標は分かりづらい。市民取組指標（人権分野）の目標値が100%、一方で市民意識指標（男女共同参画分野）は25%。このままだと50%に達するのに50年かかる計算になる。目値設定の考えをもっと明らかにし、また、チャレンジに相応しい目標値にした方がよいのではないか。	人権分野の市民取組指標について、現実的な目標として再設定をしました。 本施策の指標に限らず、指標の目標設定については、今後精査をしてまいります。
34	35	表現修正 「人権の学習会」→「人権問題学習会」 「あらゆる差別をなくす市民大集会」→「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす市民大集会」	ご指摘の内容で修正しました。
35	38	表現修正 「食生活改善推進委員会」→「食生活改善推進協議会」	ご指摘の内容で修正しました。
36	40	「国及長野県」→「国および長野県」 「国及県」→「国および県」	「及び」で統一し、修正しました。
37	43	「主な取組」の中に「病院群輪番制病院運営事業」とあります が、この事業の中に須高休日緊急診療室運営事業も含まれていれば 原稿のままでよいと思いますが、含まれていない場合は「須高休日 緊急診療室運営事業」も併記いただくようご検討ください。	ご指摘の内容のとおり併記させていただきました。
38	44	成果指標における統計指標の目標値と現状値が同じであるが、間違 いないのか。	数値誤りではなく、「現状を維持」するという意味で同値を記載したもの です。誤解がないよう「維持」と追記しました。
39	46	現状と課題欄の4項目目、「須高3市町村で」のあとに、「須坂市 社協と連携し」としたらどうか。	ご指摘のとおり追記させていただきました。
40	48	施策の取組方針の1項目目、「継続」よりも「推進」のほうが適切 な表現ではないのか。	ご指摘のとおり「推進」と修正させていただきました。
41	79	脱字修正 「都市計画マスターplan沿った」→「都市計画マスターplanに 沿った」	ご指摘の内容で修正しました。
42	79	表現修正 「未利用地の有効活用」→「低未利用地の有効活用」 「民間活力による未利用地」→「民間活力による低未利用地」	ご指摘の内容で修正しました。
43	80	表現修正 「農地の有効利用」→「農地の有効活用」	ご指摘の内容で修正しました。
44	83	字句修正 「橋りょう」→「橋梁」	ご指摘の内容で修正しました。

No	ページ (審議会配布)	委員の皆様からのご意見	ご意見に対する素案への反映内容等
45	84	表現修正 「屋代線跡地活用基本構想」→「長野電鉄屋代線跡地活用基本構想」	ご指摘の内容で修正しました。
46	91	目標値修正 「46.7」→「46.7」	ご指摘の内容で修正しました。
47	93	「主な取組」欄について 新エネルギー導入と温室効果ガス削減の推進 「太陽光発電設備の設置及び太陽熱設備設置、ペレットストーブ設置等の補助」という文章に「蓄電池設備」を対象として加えてほしい。（時代の変化に伴い、蓄電池による太陽光発電の自家消費が必要になってきているため。）	5年間の計画ゆえ、時代の変化で補助対象が変化する可能性がある。現行補助を行っているもの以外の想定も含みに持たせ、「等」としており、今後の予算化次第では蓄電池設備もここに含めることができると考えております。
48	93	「公共施設などへの太陽光発電の設置を推進します。」という文言を追加してはどうか。（第五次計画では記載されている。）	公共施設の屋根貸しについては以前に市内施設の総検討を行い、搭載可能な施設の検討が終了しており、現時点で新たな想定がないため、総合計画に推進を明記は難しいと考えておりますが、環境分野の施策内ではなく公共施設の維持管理を事業内容とする施策（例えば施策37など）の中で、記載していくか今後検討を行うこととします。
49	94	表現修正 「ゴミ」→「ごみ」	ご指摘の内容で修正しました。
50	94	字句訂正 「一人一日あたり」→「一人一日当たり」	ご指摘の内容で修正しました。
51	95	「まちの活力やにぎわいの創出」→「まちの活力や賑わいの創出」 ※基本目標6の名称と統一した表記とすること。	ご指摘の内容で修正しました。
52	96	伝統野菜について具体的な内容を括弧書きで示すこと。 伝統野菜（八町きゅうり、村山早生ごぼう、沼面目瓜）	ご指摘の内容で修正しました。
53	101	成果指標 製造品出荷額を目標数値とする以上、2025年の目標値は現状値より増加を目指すべきではないか。	コロナ禍によるマイナス成長を加味した数値を設定させていただきました。しかし、計画目標としては現状値よりも高値（せめて同値）とすることが望ましいと考えています。近日中に判明する最新値から再推計し、後日改めて数値設定を行います。（パブリックコメント時は後日設定とし表記。）
54	102	新産業創出・企業誘致 企業誘致の推進は活性化を図るうえで極めて重要であり、誘致目標件数を成果指標に追加する。	市街化区域（工業系の用途地域）内に空き用地がなく、新規造成計画が現時点ではありません。調整区域内への新規開発は農政+都計の関係法規制により極めて難しい状況です。 このことから、取組内容にものづくり産業用地第2次用地への誘致や空き工場などのあっせんを加え、取組方針を示すこととしました。成果指標について、ものづくり産業用地第2次用地の方向付けが不確定のため設定が難しいという状況です。

No	ページ (審議会配布)	委員の皆様からのご意見	ご意見に対する素案への反映内容等
55	103	表現修正 「産官学観連携による」→「産学官観連携による」	ご指摘の内容で修正しました。
56	106	基本施策12の名称 「交流とにぎわいのあるまちづくり」→「交流と賑わいのあるまちづくり」※基本目標6の名称と統一した表記とすること。	ご指摘の内容で修正しました。
57	107	字句訂正 「町」→「まち」	ご指摘の内容で修正しました。
58	109	字句訂正 「町に誇りを持つ」→「まちに誇りを持つ」	ご指摘の内容で修正しました。
59	111	表現修正 「産官学民」→「産学官民」	ご指摘の内容で修正しました。
60	123	町村では「自治会」という表現が多く使用されているが、市では「自治会」というよりも「区」という表現が多く使用されているので、総合計画内では「区」という表現にしてはいかがか。 また、「区」は行政機関ではないので「区政」とか「区行政」という表現はしないほうが良いのではないか。	前段については、ご指摘の内容で修正しました。 後段についても「区」と表現を統一する形で修正をしました。
61	128	以下の文言が一般市民には分かりづらいので市民が理解できる表現にしてはいかがか。 ・被災した方々の日常の「瀬克」 ・道路「啓開」等の遅れ	「瀬克」→「生活」に修正しました。 「道路啓開」については注釈を付けました。
62	-	計画は多岐に渡っており、本計画を遂行していくうえでは行政も各部署に横串を入れてオール須坂で施策を進めていくことが必要。それを可能とするような組織になっているか、場合によっては組織変更も視野に入れるくらいの覚悟を持って市民に情宣していくことも必要と考える。	今後、組織・人事担当課とも十分調整を図り、計画遂行との一体性を担保します。
63	-	10年後を見据えての計画には若い人達の意見を聞いて欲しいと願っています。新型コロナウィルスで新しい生活の様式、やり方、考え方方が大きく変化していく時ですので、時代を担う方々に夢を与えていけるように希望します。	総合計画策定にあたり実施した若者アンケートの結果を「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の課題・背景に盛り込み、若者の意見を十分背景に置いた計画策定と施策運営を進めていきます。
64	-	「共創」という言葉について 共創という言葉とはかけ離れた現実に悩むところです。将来像により、大人も子供も誰もが「しあわせ」を感じるような方向付けが必要ではないかと感じています。どんな素晴らしい計画を立てても、人の心に伝わらなければ意味がないと感じます。	これまでの審議会における審議経過から、将来像など基本構想の根幹にかかる指摘については現時点で修正は難しいですが、基本構想の将来像設定の背景で詳細説明を付し、六次計画の重要な視点である「共創」という大切なキーワードが浸透していくよう努めてまいります。

No	ページ (審議会配布)	委員の皆様からのご意見	ご意見に対する素案への反映内容等
65	-	計画書全般について、英語やカタカナ表記、専門用語が多いが、誰が読んでも分かり易い計画とすることが大切。必要に応じ注釈を設けるなどし、対応されたい。	専門用語を平易な言葉に置き換えることや、これにより難い場合は注釈で対応します。注釈については計画書の巻末資料に用語一覧を設けるなどして対応することも含め検討いたします。
66	-	全般にわたり「取り組み」、「取組み」、「取組」と記載方法が混在しているため統一されたい。	記載方法を広報の編集に準じて対応いたします。 ・取組みを単独的に名詞で用いる場合 →「取組み」 (例) …に関する取組みを推進します。 ・後ろに更に名詞を伴う場合 →「取組」 (例) 取組方針、取組内容 ・文中で動詞的に用いる場合 →「取り組んでいきます。」
67	-	全般にわたり「および」、「及び」、「及」と記載方法が混在しているため統一されたい。	「及び」で統一しました。
68	-	全般にわたり、句読点を付した文章と付さない文章の統一感に欠けるため、統一されたい。	記載項目ごと、統一しました。
69	-	各種アンケートについては世代別で見られるとより精密な分析ができるかと思います。	基本構想部分での盛り込みは分量上難しいのですが、重要データ等は世代別で巻末資料にて示すことも場合によっては必要と考えています。
70	-	計画全般でICTの利活用が出てくるが、例えば施策36の中に官民データ活用推進基本計画の策定検討を含めてはいかがでしょうか。	施策36の中に「行政と地域の総合的な情報化や官民によるデータ活用推進など、市の情報化に関する取組みについて市民と共有を図るよう努めます。」と追記しました。
71	-	計画全般について、普段使わない言葉が多用されているため、誰でも理解できる文章にしていただきたい。 (例) P12「コンセプト」、P11「ICT化」、P36「インバウンド」等	ある程度、カタカナ語や英語表記の言葉の中にも、ある程度一般化しつつある言葉と注釈が必要な言葉があると思います。一般的な言葉はあえて理解と認識を促す上でも、括弧書き等で説明を付けつつそのまま用いることも必要との考えもあります。ただ、全般的にこれらの言葉は巻末資料で用語集を付け、容易に参照できるような工夫は必要と考えています。 差し当たり、パブコメ資料としては以下対応しています。 「コンセプト」→「基本的な考え方」と修正。 「ICT」→「ICT（情報通信技術）」と追記。 「インバウンド」→文外に注釈を挿入。
72	-	報道やSNSをはじめとする情報の効果は大きいと思います。SNSの中でもLINE（ライン）を活用している人は多いことから、LINEのトークや「友だち登録」などで須坂市の魅力やイベント情報の発信をしていくことも検討されたい。また、防災などにも活用できるのではないか。	各施策における事務事業の中で検討をしてまいります。